

(規則) 様式第 7 (第 7 条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和 8 年 1 月 15 日

犬 山 市 議 会
議 長

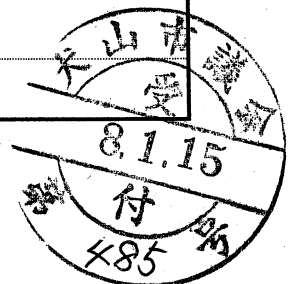
様

議員名

柴山一佳

下記のとおり、_____の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和 8 年 1 月 8 日 (木) ~ 年 月 日 () (泊 日)
(2) 場 所	(株) バイオセラ-社
(3) 形 態	会派 () : <u>その他</u> ()
(4) 内 容	別紙参照
(5) 成 果 ・ 提 言	別紙参照



令和8年1月15日

政務調査視察報告書

日時；令和8年1月8日 午後1時15分～午後4時頃

視察先：株式会社バイオセラー社（滋賀県草津市）

参加者：鈴木伸太郎犬山市議、井上恭子常滑市議、大川章東浦町議、辻文男美濃市議、小川麻実各務原市議、舟橋よしえ日進市議、古川明美各務原市議、柴山一生犬山市議

内容：ごみ処理促進剤 ヌーボー菌と生ごみ処理機視察

特徴：処理スピード速さ、無臭性

報告

鈴木議員の紹介で、バイオセラー社を訪問。御社到着後、まず30キロ処理機に15キロの新鮮な野菜や果物を処理機に入れ、処理開始。中には米ぬかのような処理床が入っており、耕運機のローターのようなパーツがあり、回転を始めた。その後我々は、会議室で説明を伺うことになるが、それが終わる1時間後には、先ほどの野菜や果物は微塵も無くなっているはずだそう。実際会議後確認するとおっしゃる通りになっていた。においもほとんどなかった。このサイズで200万円だそうで、大きなものは500キロ、1トンもあるそう。

現在利用している自治体は長野県高森町で、町民が自分で処理機まで生ごみを持ってきて処理機に投入し、地域通貨を頂くシステムになっているそう。そのお陰か、高森町は全国有数のごみを出さない自治体となっている。

そもそも生ごみ処理促進剤は世の中には多数で回っており、そのなかで競争していかねばならない分野。それは、生ごみを処理する菌は自然界に何千とあるそうで、この会社独自の発想というわけではないそう。

犬山への助言

犬山でもEM菌とかボカシとか流行っていた時期があったし、現在でも生ごみ処理機にいくる助成は行っている。ただし、定着してしまったのか、興味が薄れたのかわからないが、市内では最近あまり生ごみ処理の話題を聞かない。環境課で、定期的にごみフェアでも開催していったらいかがだろうか。